

JENESYS2025 ASEAN 同窓生のオンライン訪日プログラムの記録 (テーマ:環境・防災)

1. プログラム概要

【目的・概要】

本プログラムは、JENESYS 事業で訪日経験のある ASEAN 地域の同窓生を対象に、「環境・防災」をテーマとしたプログラムを通じて、専門的な知識を得て、日本への関心・支持を拡大し、関係分野の日本人とのネットワークを形成することを主目的とし、2025 年 8 月 25 日から 8 月 29 日の日程で実施しました。

【参加者】ASEAN 諸国の JENESYS 同窓生(2024 年度までの参加者) 合計 39 名 (内訳) インドネシア 3 名、カンボジア 3 名、シンガポール 2 名、タイ 1 名、東ティモール 10 名、 フィリピン 9 名、ブルネイ 1 名、マレーシア 7 名、ミャンマー3 名

【訪問地】東京都 31 名、宮城県 23 名、沖縄県 21 名

【日程】

■ オンライン訪日プログラム:

8月25日(月曜日) 【オリエンテーション】

【テーマ関連講義】「台東区の災害対策について」

講師:台東区総務部 危機・災害対策課 森田 祥吾 主任

【ワークショップ】ホーム・サバイバル・トライアル

【意見交換】

8月26日(火曜日) 【テーマ関連講義】「たった2度で〜地球の気温上昇がもたらす環境災害〜」"

講師:宮城県環境教育リーダー 木立 芳行 氏

【実験】「なぜ地球温暖化は大雨を引き起こすのか」

【ワークショップ】

「今ここで地球がしゃべったら?」「自分のアクションを考えよう!」

【意見交換】

8月27日(水曜日) 【テーマ関連講義】災強のすけっと

講義:「災強のすけっとについて」

講師:災強のすけっと 浦尾 樹正 代表

講義:「災害時 他人事にはできない~避難所・応急処置入門~」

講師:災強のすけっと 鈴木 結子 副代表

【交流】災強のすけっとメンバー交流

【意見交換】

8月28日(木曜日) 【文化体験】沖縄空手(講義・実演)

講師:沖縄小林流空手道古武道連盟 ワールド王修会沖縄道場

空手講師 大城 光平 氏

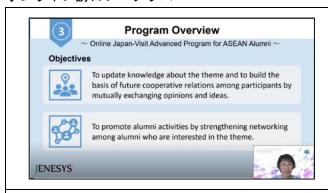
【文化体験】エイサー (講義及び高志保青年会による実演) 【ワークショップ】報告会準備 (再訪日成果のとりまとめの作成)

8月29日(金曜日) 【報告会】再訪日成果の発表

このプログラムは、JENESYS2025 ASEAN 同窓生のオンライン訪日プログラム(テーマ:スタートアップ・経済連携)と一部合同で実施しました。

2. 記録写真

オンライン訪日プログラム





8月25日【オリエンテーション】

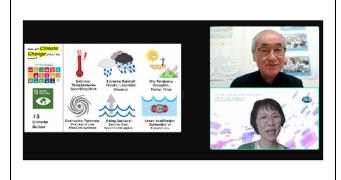
8月25日【テーマ関連講義】 「台東区の災害対策について」





8月25日【ワークショップ】 ホームサバイバルトライアル

8月25日【意見交換】

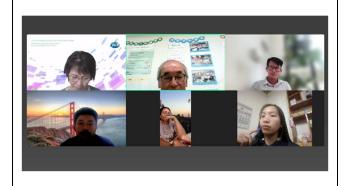


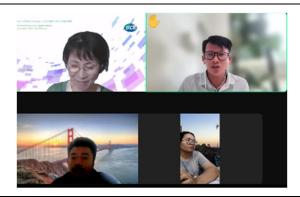


8月26日【テーマ関連講義】「たった2度で~地球の気温上昇がもたらす環境災害~」

8月26日【実験】

「なぜ地球温暖化は大雨を引き起こすのか」





8月26日【ワークショップ】「今ここで地球がしゃべったら?」「自分のアクションを考えよう!」

8月26日【質疑応答】木立氏の講義・実験・ワークショップについて





8月27日【テーマ関連講義】 「災強のすけっとについて」

8月27日【テーマ関連講義】「災害時 他人事にはできない~避難所・応急処置入門~」





8月27日【交流】災強のすけっとメンバー交流

8月27日【交流】記念撮影





8月28日【文化体験】沖縄空手



8月28日【文化体験】エイサー



8月29日【報告会】

8月29日【報告会】集合写真

3. 参加者から寄せられた質問・関心事項(抜粋)

◆ 【テーマ関連講義】「台東区の災害対策」について

- 避難場所と避難所の違いについて教えてください。
- ・ 在宅で避難することを想定した場合、訓練や練習するにあたって、今日挙げられた例の他にはどんなことがありますか。
- ・ 災害時のゴミ処理の仕方について教えてください。

◆ 【テーマ関連講義】「たった2度で~地球の気温上昇がもたらす環境災害~」について

- カーボントレードは環境問題に貢献できる良い手法だと思いますか。
- ・ 講義内容の2度の変化でもカメなどの種の性決定に影響を与える可能性があるというメカニズム は、他の生物にも当てはまりますか。

◆ 【テーマ関連講義】「災強のすけっと」「災害時 他人事にはできない~避難所・応急処置入門~」 について

- ・ 防災に関するワークショップで年齢や年代の異なる参加者に説明をする際、工夫していることはありますか。
- どのくらいの頻度で活動されていますか。
- ・ 減災に向けての活動に感心しました。若い世代が社会貢献活動を実践するのは地域や社会へ改善を 促す、良いきっかけになると思います。

◆ 【文化体験】沖縄空手について

・ 沖縄空手には古くからの歴史があると知って驚きました。さらに、沖縄は小さな島々から成り立っていますが、大きな国に匹敵するほど豊かな文化と歴史的価値を持っていると感じました。日本文化に心から感銘を受け、日本を訪れてみたいという気持ちが一層強くなりました。

◆ 【文化体験】エイサーについて

・ 日本独自の音楽文化について学ぶ素晴らしい機会でもありましたし、エイサーの演舞は圧巻でした。音楽やリズムが言葉の壁を越えて人々をつなげてくれました。空手の先生の動きも見事で、私も空手に挑戦してみたいと思いました。

4. 参加者の感想(抜粋)

◆ カンボジア 大学生

楽しい時間となっただけでなく、特に気候変動や組織的な防災についてのディスカッションを通して、新たなインスピレーションを得る機会となりました。気候変動が人間や他の生き物の生まれてくる性別に影響を与えている可能性があるという話を聞いた時には、研究に対する興味が湧き上がるのを感じました。

学術的な側面以外では、豊かな文化も経験しました。日本の文化や伝統、特に身を守るという芸術や心を奪われたエイサーはとにかく朗らかで魅力的でした。これらの文化との出会いによって、私は日本独特の伝統に対してより深い敬意の念を抱くようになりました。

◆ ミャンマー 大学生

一日目は、台東区の組織化された防災の取り組みに感動しました。二日目には、気候変動がもたらす リスクがいかに急を要するものかについて認識し、三日目は、災害レジリエンス構築支援に対する 医学生たちの情熱に触れました。最終日には、沖縄空手やエイサーなどの文化が災害緊急時におい て地域をまとめるという、文化的な見識を深めることができました。全体的に、協力を要する活動や ディスカッションはとても意義深いものだったと思います。交流を通して新たな視点を得ることが できました。

◆ インドネシア 社会人

このプログラムを通して、日本の総合的なレジリエンスモデルが、防災管理や文化的価値及び環境への認識を融合させたものであることを知り、大いに感動しました。特に災害への備えについては、形式やインフラだけでなく地域の協力や共助そして他者へのリスペクトが備えにつながるものである、と学びました。「災強のすけっと」の皆さんは、互いを助け合うという真の強さを思い出させてくれました。この学びは日常生活の中で、大切なレッスンとして常に大切にしたいです。同窓生として、私は防災に対する備え、持続可能な環境、多文化協力について自分の地域でも推進していきます。

5. 受入れ側の感想(抜粋)

◆ 講師

ASEAN 諸国でも風水害や地震をはじめとする自然災害が発生しているので、参加者の方々は日本の防災対策に強い関心を持っていると感じました。質疑応答では、具体的な防災対策について踏み込んだ質問が多く、日本の知見への期待の高さを実感しました。また、私の質問に対する回答として、各国の災害対策の状況について共有いただき、私自身も新たな視点や知識を得ることができ、大変良い機会になりました。

◆ 講師

今回のプログラムで講師を務めさせていただき、自分自身の地球温暖化防止への意識をさらに強めることができました。また、地球温暖化防止の活動は自分一人で行っているのではなく、賛同してくれる仲間が海外にもいるのだということを実感でき、大きな励みとなりました。

◆ 交流メンバー

海外の方との交流は滅多にない経験でした。研修後も参加者の方からご連絡をいただけて大変嬉しく思います。メンバーとは英語は勉強しようと強く決意し合いました。今後同様の海外の方との交流イベントなどに弊団体としても関わって参りたいと思っております。

6. 参加者の対外発信(抜粋)、報道記事等



2025年8月25日 (Instagram)

マレーシア 大学生

東京都台東区役所危機・災害対策課の森田祥吾氏が台東区の災害対策についてご講義下さいました。

台東区は、有名な浅草がある地域ですが、台東区 地域防災計画、災害支援協定、防災アプリ、多言語 ハンドブックやマップ、建物の耐震補強システム などを通した災害に対する備えを奨励していま す。

講義の最後には、森田氏による「ホームサバイバル」ワークショップも実施されました。

Excited to share! *

I'm joining the JENESYS2024 Online Japan-Visit Advanced Program for ASEAN Alumni (Theme: Environment & Disaster Prevention), hosted by JICE. Dates: 25–29 August 2025 (JST) Grun: RB.

Day 1 & 2 were fun, insightful, and immediately useful for daily life. I'm grateful for the chance to learn practical approaches to environmental resillence and disaster preparedness—and to build new connections across Southeast Asia. What a wonderful opportunity to learn together and strengthen regional ties.

Big thanks to Ms. Mayumi Konta and the JENESYS/JICE team for the excellent coordination. Looking forward to the rest of the program—see you online!

#JENESYS2025 #GroupB6 #JICE #Japan #ASEAN #Environment #DisasterPrevention #Alumni #RegionalCooperation #JENESYS_ASEAN



2025年8月26日 (Instagram)

カンボジア 大学院生

私は「JENESYS2024 ASEAN 同窓生対象 日本オンライン訪問プログラム(テーマ:環境と防災)」に参加しています。

日程: 2025年8月25日~29日(日本時間)

グループ:B6

プログラム 1 日目と 2 日目は楽しく、有意義で、 日常生活にすぐ役立つ内容でした。環境の強靭性 や防災への実践的なアプローチを学べる機会、そ して東南アジア各地との新しいつながりを築ける 機会をいただき、とても感謝しています。共に学 び、地域の絆を強められる素晴らしい機会です。

Japan online visit Advanced Program

> Theme: Disaster management and Climate change

Amazing program
with a lot of insightful
materials i was
previously not aware
of. Teamed up with
my group members
from other ASEAN
countries and we had
a wonderful time
creating the slides
and working together
to put in our opinions!

2025 年 8 月 28 日 (Instagram)

シンガポール 高校生

日本オンライン訪問プログラム

テーマ:防災と気候変動

今まで知らなかった多くの気づきを与えてくれる素晴らしいプログラムでした。ASEAN 各国のグループメンバーとチームを組んで、スライドを作成したり意見を出し合ったりして、とても楽しい時間を過ごしました。



2025 年 8 月 29 日(Facebook) フィリピン 社会人

B6 グループは、JENESYS 同窓生対象の JENESYS 2025オンライン訪日プログラム最終日 の5日目、発表の準備が整い出番を待っています。 日本と ASEAN 間における、相互理解を深め、友 情を強化し、文化や人的な交流を促進することを 目的としています。尊い学びやつながりを得た豊 かな旅の終わりに、わくわくしています。



2025 年 8 月 27 日(災強のすけっとの Instagram) 8 月 27 日、外務省主催「ASEAN 同窓生オンライン訪日プログラム」にて災強のすけっとが防災セッションを担当しました。「避難所支援の考え方」と「けがの応急処置」をテーマに、参加者のみなさんと双方向に学び合いました。

そして国を越えて防災について交流できる時間は とても貴重な機会となりました。

このご縁を大切にし、日本にとどまらず防災の輪を広げていきます。

7. 報告会での再訪日成果の発表(抜粋)

訪問地:東京都、宮城県、沖縄県 全5グループ発表

グループ B2







【成果の発表】

◆ テーマに関連し、参加者が協働して行う今後の活動 「デジタル学習キット」

日本と ASEAN 諸国の、様々な年齢の人を対象とした、誰もが参加できる無料のプラットフォーム、災害への備えのオンラインキットを作成します。

◆ 実践的な参加

子どもや若者、大人、高齢者に地域活動参加を奨励します。活動としては、植樹やサンゴ礁保護、海岸 清掃、ネイチャーウォーク等を想定しています。

◆ ユース気候テックハブ

同窓生が運営する情報共有プラットフォームで、日本や ASEAN 諸国で起きている災害や新たな対応 策における情報を常にアップデートして共有します。

グループ B4&B5







【成果の発表】

◆ テーマに関連し、参加者が協働して行う今後の活動

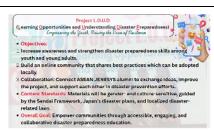
国境を越えた同窓会ネットワークを構築して持続的かつ多文化に優しい防災教育を奨励するなど、 様々な活動を提案します。

- ・ 地域でのワークショップ:日本モデルや他の事例を参考にしながら、災害に対する備えについて 学べる地域セミナーを開催します。
- ・ 若者の参加:折り紙や武道などの文化的な要素を盛り込んだレジリエンス学習の機会を設けます。
- SNS キャンペーン: 学んだことを#jenesys_asean で共有し、地域の認識を上げます。

グループ B6







【成果の発表】

◆ テーマに関連し、参加者が協働して行う今後の活動

「L.O.U.D プロジェクト」

学習の機会と災害に対する備えを理解する(Learning **O**pportunities and **U**nderstanding **D**isaster Preparedness)プロジェクトです。

プロジェクトの目的:

- ① 若者や若い大人たちの認識の向上と災害に対するレジリエンス強化、地域の特色に配慮したものであること
- ② 地域で導入できそうな良い事例を共有するオンラインコミュニティーの構築
- ③ コラボレーション: JENESYS ASEAN の同窓生をつなげ、アイデアの交換、プロジェクトの改善、 防災の取り組みを共に支援する等

内容の水準:

・ 資料は性別や文化に配慮したものであり、仙台防災枠組、日本の防災計画や地域の特色に合った 災害関連法に沿ったものであること

最終目標:

· アクセス可能で、参加可能な、協働災害へ備える教育構築に協力すること

実施団体:一般財団法人日本国際協力センター(JICE)